

	1	2	3	4	5	
ねらい	100をこえる数(3位数)の構成を理解し、数えたり、表したりすることができる。		数の構成を理解し、空位のある数を表したり読んだりすることができる。	一般的な3位数の構成を理解し、表したり読んだりすることができる。	10のいくつ分を、何百何十というようにとらえることができる。	
主な学習活動	<p>1. 問題の内容をとらえる。 さかなは、なんびきいるでしょう。</p> <p>2. 課題をつかむ。 100より大きい数についてしゃべよう。</p> <p>3. どのように数えたらいいか考える。</p> <p>4. 10匹ずつ線で囲んでいく。</p> <p>5. 10匹の集まりの数を確認する。</p> <p>6. 100匹の集まり、10匹の集まり、ばらの数を確認する。</p>	<p>1. 100と20と6を合わせた数の表し方を考える。</p> <p>2. 100と20と6を合わせた数の表し方と読み方を知る。</p> <p>3. 練習問題を解き、答えを確かめる。</p>	<p>1. 問題の内容をとらえる。 おりがみの数を数字で書きましよう。</p> <p>2. 課題をつかむ。 1つも集まりがないときの数を書いたり読んだりしよう。</p> <p>3. 折り紙の数を数字で表す。</p> <p>4. 折り紙の数の表し方と読み方を確認する。</p> <p>5. 一の位が0のときの数の表し方を確認する。</p> <p>6. 類似問題を解く。</p> <p>7. 空位のある数の書き方や読み方についてまとめる。</p> <p>8. 練習問題を解き、答えを確かめる。</p>	<p>1. 問題の内容をとらえる。 おりがみの数を数字で書きましよう。</p> <p>2. 課題をつかむ。 百のあつまりがいくつあるときの数を書いたり読んだりしよう。</p> <p>3. 100を2個集めた数の表し方と読み方を知る。</p> <p>4. 200と30と7を合わせた数の表し方と読み方を知る。</p> <p>5. 375のそれぞれの位の数字を言う。</p> <p>6. 一般的な3位数の表し方や読み方についてまとめる。</p> <p>7. 練習問題を解き、答えを確かめる。</p>	<p>1. 問題の内容をとらえる。 10を13こあつめた数はいくつでしょう。</p> <p>2. 課題をつかむ。 10のあつまりが いる数は、いくつかな? 考えよう。</p> <p>3. 10を10個集めた数が100であることをもとに考える。</p> <p>4. 10を13個集めた数は130であることがわかる。</p> <p>5. 練習問題を解き、答えを確かめる。</p>	
予想されるところまで	魚の数が多くて、正しく数えられない。既習の二位数のゆきだるまの数を数える学習を取り入れ、10の集まりずつ囲んで数えるとよいことに気づくようにする。	3位数の数の構成が十分理解できなく、数字でもどう表してよいかわからない。問題の3位数をブロックを使って表す活動を取り入れて、100の集まり、10の集まり、ばらがいくつとさえてから数字で書くようにする。	十の位、一の位がないことを0で表すことがよく分かっていない。位取り板やお金を使って、10の集まりがないことや一の位がないことを視覚的にとらえさせ、空位の0を忘れずに正しく表すようにする。	3位数の数の構成や100の集まりがいくつということが十分かどう表してよいかわからない。百の位が1の場合の表し方に取り組んでから問題に取り組む。また、ブロックやお金を使って表し、数のしくみがとらえられるようにする。	10が13こという数をとらえることができない。13こを10こ3こに分けて考え、10が10こで100、10が3こで30になることをブロックやお金を使ってとらえるようにする。	
評価	関心態度	100より大きい数を進んで数えようとする。	100より大きい数を進んで表したり読んだりしようとする。	空位がある場合の数を進んで表したり読んだりしようとする。	百の位が1より大きい数を進んで表したり読んだりしようとする。	2位数の数系列をもとに3位数の数系列を考える。10や100を単位として、数の相対的な大きさをとらえる。
	考え方			十進位取り記数法の表し方をもとに、空位がある場合の表し方について考える。		
規準	表現処理	魚の数を、落とさずに数えることができる。	100より大きい数を数えたり、表したり、読んだりすることができる。	空位がある場合の数を数えたり、表したり、読んだりすることができる。	百の位が1より大きい数を数えたり、表したり、読んだりすることができる。	10や100を単位とした、数の相対的な見方がわかる。
	知識理解		100より大きい数の数え方、十進位取り記数法による表し方、読み方がわかる。	空位がある場合の数の数え方、十進位取り記数法による表し方、読み方がわかる。	百の位が1より大きい数の数え方、十進位取り記数法による表し方、読み方がわかる。	

		6	7	8	9	10
ね ら い		何百何十を、10のいくつ分というようにとらえることができる。	100を10個集めた数を1000と書いて、千と読むことを知る。 また、1000を数直線と対応づけ、1000についての理解を深める。	数直線を用いて、1000までの数の順序、系列、大小などを考え、数についての理解を深める。	これまでの学習のまとめをする。	これまでの学習のまとめをする。
主 な 学 習 活 動		1. 問題の内容をとらえる。 250は10をいくつあつめた数でしょう。 2. 課題をつかむ。 何百何十は10をいくつあつめた数かな？ 3. 250は100をいくつと、10をいくつ合わせた数か考える。 4. 250は10を25個集めた数であることがわかる。 5. 類似問題を解く。 6. 練習問題を解き、答えを確かめる。	1. 問題の内容をとらえる。 ・の数を数字で書きましょう。 2. 課題をつかむ。 100のあつまりがたくさんある数はいくつかな？ 3. 100の集まりがいくつあるか数える。 4. 100を10個集めた数を1000と書いて、千と読むことを知る。 5. 1めもりの大きさが100になっている数直線をもとに1000の数をとらえる。 6. 練習問題を解き、答えを確かめる。	1. 問題の内容をとらえる。 数のせんの にあてはまる数を書きましょう。 2. 数直線を見て、 にあてはまる数を書く。 ・10 ・250 ・680 ・820 ・990 3. 450を表す目盛りに をつける。 4. 練習問題を解き、答えを確かめる。	1. 課題をつかむ。 れんしゅうもんだいをとき、これまでのがくしゅうのまとめをしよう。 2. 練習問題を解く。 ・3位数の表し方についての問題を解く。 ・1000までの数の構成と記数法についての問題を解く。 ・3位数の構成と数の相対的な大きさについての問題を解く。 ・3位数の大小比較についての問題を解く。	1. 課題をつかむ。 れんしゅうもんだいをとき、これまでのがくしゅうのまとめをしよう。 2. 練習問題を解く。 ・3位数の系列についての問題を解く。 ・3位数の構成と記数法についての問題を解く。 3. やってみよう「1000にチャレンジ」の問題に取り組む。
予 想 さ と れ る だ つ て ま		250は100がいくつと10がいくつ合わせた数かととらえられない。 お金やブロックで、250を200と50に分け、200は10が20こ、50は10が5こであることを理解できるようにする。そして、250は10を25こ集めた数であることをとらえるようにする。	1000が100の集まりが10こであることや数直線と対応させてして1000という数をとらえることができない。1めもりの大きさが10のものを用意し、10の集まりが10こで1000であることから1000の場合も同様に考えるようにする。	数の大小比較の仕方が分からない。 2位数の大小比較を行い、比較の手順を知らせてから3位数の大小比較に取り組むようにする。また、1円玉を1000個用意して1000は大きな数であることを実感としてとらえさせるようにする。	・どのように書き表したらいいか、思い出せない。 ブロックや位取り板を随時使用して、具体的に操作しながらつまずいた問題に取り組ませる。また、既習内容を掲示物を利用して想起させながら、問題に取り組ませる。	
評 価 規 準	関 心 態 度			数直線の特徴がわかり、進んで使おうとする。	既習事項を想起しながら、進んで問題を解こうとする。	既習事項を想起しながら、進んで問題を解こうとする。日常生活の中から1000という数を見出そうとする。
	考 え 方	2位数の数系列をもとに3位数の数系列を考える。10や100を単位として、数の相対的な大きさをとらえる。				
	表 現 処 理		1000までの数の大小を比べることができる。	1000までの数を数直線に表したり、表示された数を読んだりすることができる。		
	知 識 理 解	10や100を単位とした、数の相対的な見方がわかる。	1000までの数の大小の比べ方がわかる。	1000までの数の数直線上への表し方がわかる。		

